

令和5年度 恵庭市立恵庭中学校 自己評価に対する学校運営協議会委員評価書

校長名	津谷 昌樹
作成日	令和6年2月6日

1 学校の教育目標

自らを磨き 豊かに生きる
～ 優しく 強く 伸びやかに ～

2 学校の経営方針

<p>～めざす生徒像～ 夢と志を持ち、自立・協働・創造する生徒</p> <p>■学校教育の重点■ ともに学び 伝え合い 高めあう力の育成 ～「コミュニケーション力」の向上と自己有用感の醸成～</p>	<p>～めざす学校像～ 子どもの未来を育てる学校</p> <p>～チーム恵中（共育）～ □子どもたちの夢実現を応援する学校 □個が輝き、仲間とともに成長する学校 □ふるさとと関わり、ともに未来を創り上げる学校</p>	<p>～めざす地域像～ 子ども・ふるさとの未来を育てる地域</p> <p>～協働する地域・家庭（協育）～ □CS 学校運営協議会を核に子どもを支える地域 □助け合い、協力し合い、学校とともに成長する地域 □学校とつながり、ともに子どもを育てる地域</p>
---	--	---

3 重点目標達成に向けて

<p>■学校経営の基本方針に基づく取組の観点及び目標■ ～めざす教師像～ <推進にあたっての基本姿勢>『自信』と『しんか』</p> <ol style="list-style-type: none"> 信頼と調和のある学校づくりの推進 ① 学校運営 ② 教育課程 ③ 研修活動 ④ 危機管理 ⑤ 教育環境 生徒の自己実現を図り、社会で生きる力を育む教育の推進 ⑥ 学習指導 ⑦ 学習習慣 ⑧ キャリア教育 ⑨ 体験的な学習 ⑩ 学年・学級経営 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 ⑪ 道徳教育 ⑫ 特別活動 ⑬ 生徒指導 ⑭ 健康・安全教育 ⑮ 読書教育 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 ⑯ 人権教育 ⑰ 福祉教育 ⑱ 特別支援教育 ふるさとに学び、支えられる、家庭・地域とともに歩む教育の推進 ⑲ 地域とともにある学校 ⑳ コミュニティ・スクール ㉑ ふるさと教育 時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進 ㉒ GIGAスクール ㉓ 小中連携教育 ㉔ 働き方改革 ㉕ コロナ対応 	運営協議会委員の意見	
	<p>目標設定の適切さ</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>本年度の「重点目標達成に向けて」についての意見等</p> <p>※1) 経営方針の提示の仕方（6つの観点、25の目標で表現していることについて） ◆人とつながり、新たなことを学び、仲間とは何かを創り上げるよこびを生徒に味わわせてほしい。学校って楽しいと思わせてほしい。 ◆学校の経営方針を達成するために必要かつ妥当な6つの観点、25の目標が体系的に整理・関連付けされていると思慮します。 ◆体育大会・文化発表会を拝見させてもらい、生徒たちのコミュニケーション力を感じ、重点目標のつながりに充分浸透していると思います。 ◆6つの観点を具体化して25の目標を設定していてわかりやすいと思います。</p> <p>※2) 25設定している目標の内容について ◆学校の経営方針を達成するために必要かつ妥当な6つのk難点、25の目標が体系的に整理・関連付けされていると思慮します。 ◆目標の内容は理解できますが、減らせるならもう少しでも減らした方が、より目標が達成感を得られるのではないかと感じました。</p>

4 学校評価の方法（工夫点）について

<ol style="list-style-type: none"> ①年度末の反省だけでなく、中間反省を行い生徒の実態に応じた改善を進める ②教職員による自己評価（中間評価、年度末評価、行事ごとの評価）を実施する ③保護者アンケート・生徒アンケート（年2回）を実施する ④学校日より、HP、緊急メール等を活用した教育活動の共有に努める 	運営協議会委員の意見	
	<p>評価方法の適切さ</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>※学校評価実施の工夫についてのご意見 ◆中間反省を行うなど適切な進捗管理により主体性の高い学校評価を実践している。 ※一つの方向に教員が向き、それぞれが何をすべきかを理解して教育を進めている。生徒はよく見ている。そんな基盤があって、生徒は自己実現のためにがんばれると思います。お疲れ様です。</p>

5 自己評価の結果と改善の方策

(1) 信頼と調和のある学校づくりの推進

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	A
	大項目	小項目				
1	学校運営	全教職員の主体的な参画による組織的・機能的な学校運営の充実が図られたか	3.79	A		
2	教育課程	生徒の姿が見える評価に基づく学校教育の改善・創造(カリキュラムマネジメント)が図られたか	3.68	A		
3	研修活動	実践的指導力の向上を図り、授業改善に結びつく研修の充実が図られたか	3.62	A		
4	危機管理	生徒・教職員の生命と学校の財産を守る危機管理の徹底と防災教育の充実が図られたか	3.68	A		
5	教育環境	落ち着きと潤いのある教育環境の整備が図られたか	3.44	B		
<p>・全教職員の連携・協働により、様々な課題を克服しながら学校運営を進めることができました。今後も危機管理の徹底を図ると同時に、環境整備の充実を図りながら、生徒の成長につながる取組を進めていきたいと考えています。</p>						

(2) 生徒の自己実現を図り、社会で生きる力を育む教育の推進

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	A
	大項目	小項目				
6	学習指導	「主体的・対話的で深い学び」の実現とICT活用・学び直しの充実が図られたか	3.55	A		
7	学習習慣	夢や目標実現のために、自ら学びに向かう態度の醸成と生活・学習習慣の確立が図られたか	3.47	B		
8	キャリア教育	夢をはぐくみ、自己実現に向かって挑戦・行動できる能力や態度の育成が図られたか	3.49	B		
9	体験的な学習	自主的・実践的な態度や、自ら学び考える力を育む体験的な学習の充実が図られたか	3.53	A		
10	学年・学級経営	生徒一人一人のよさを生かし、個と集団を高める学年・学級経営の充実が図られたか	3.66	A		
<p>・一人1台端末を用いた授業改善は、教職員による研修や日常的な活用により取組が進んでいます。学習面に関しては、とくに学習習慣の定着に課題が見られますので、端末を活用した学習習慣の定着など工夫を凝らした取組を行っていく必要があります。</p> <p>・職場体験学習は、地域の協力を得ながら実施することができました。今後も実施方法等を工夫しながら取組を進めていきたいと考えています。</p>						

(3) 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	A
	大項目	小項目				
11	道徳教育	道徳科を要とした、より良く生きる力を育む道徳教育の創造と充実が図られたか	3.66	A		
12	特別活動	望ましい集団生活を通し、自主的・実践的な態度を育む特別活動の充実が図られたか	3.61	A		
13	生徒指導	生徒との信頼関係を構築し、自己指導能力を高める発達支持的生徒指導の充実が図られたか	3.67	B		
14	健康・安全教育	生命の尊重を基盤とし、生涯を通じて活力ある生活を送る力を育む健康・安全教育の充実が図られたか	3.71	A		
15	読書教育	豊かな感性や想像力、思考力、表現力を育む読書活動の充実が図られたか	3.74	A		
・道徳教育は、教科としての目標達成に向け、係が年間指導計画を作成した上で、学年内で展開方法を柔軟に工夫しながら進めてきました。次年度もこれまでの成果と課題を生かし、年間計画の改定を行い「議論する道徳」の実現を目指します。 ・保護者アンケートからは、学校の安全への配慮や生徒の思いやりの心育成に高い評価を得ています。その信頼に応える意味でもじっくりと取組を進めていきたいと考えています。						

(4) 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	A
	大項目	小項目				
16	人権教育	自他を大切にし、互いに認め支え合う態度を養う人権尊重教育の充実が図られたか	3.59	B		
17	福祉教育	福祉やボランティアに関心を持ち、思いやりをもって行動する態度の醸成が図られたか	3.43	A		
18	特別支援教育	生徒個々の教育的ニーズに応じた組織的・計画的な特別支援教育の充実が図られたか	3.78	A		
・人権、福祉教育では、生徒会活動が主体となって、いじめ撲滅を目指した「なかよしさわやかDAY」の実施や、ボランティア清掃、各種募金活動を通じて、他者への気遣いを考えさせる工夫等を実践しています。 ・本校独自の「ゆっくりルーム」の運用や特別支援教育コーディネーターを中心とした不登校対策を進めているが、不登校生徒の減少にはつながっていない。生徒個々の抱える様々な困り感に対応できる仕組み作りを続けていきます。						

(5) ふるさとに学び、支えられる、家庭・地域とともに歩む教育の推進

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	A
	大項目	小項目				
19	地域とともにある学校	教育活動や生徒の実態等の送受信による地域社会から信頼される学校づくりが推進されたか	3.77	A		
20	コミュニティ・スクール	家庭・地域との目標・ビジョンの共有と、連携・協働した教育活動の推進が図られたか	3.60	A		<p><ご意見など></p> <p>◆防災を軸にした地域とともにある学校の更なる推進に期待します。</p> <p>◆地域の避難所でもある恵庭中でいつ起こるか分からない災害が起きたら、自助・共助・公助として自分たちがどうするか。継続して一日防災学校は非常に良いと思います。</p>
21	ふるさと教育	ふるさとに学び、ふるさととともに成長する教育の創造が図られたか	3.57	A		
<p>・保護者アンケートの回収率は90%近くであり、学校行事の充実や参観日等の実施回数についても高い評価を得ています。次年度も保護者、地域とともにある学校を推進していきます。</p> <p>・1日防災学校の取組を通して、地域とともにある学校づくりを進めることができた。</p>						

(6) 時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	A
	大項目	小項目				
22	GiGAスクール	各教科の目標達成に向けたICT（一人1台端末）の効果的な活用が図られたか	3.70	A		
23	小中連携教育	小中学校9年間の課題を明確にして進める小中共通した取組の充実が図られたか	3.47	A		<p><ご意見など></p> <p>◆不易流行の考え方に即し、学校経営方針の達成のために、必要な取組を推進してください。</p>
24	働き方改革	組織運営体制の改善・充実による職員個々がやりがいを感じる職場づくりが推進されたか	3.45	B		
25	コロナ対応	安心・安全な教育環境整備と個々の生徒への確実な学びの保障が行われたか	3.68	A		
<p>・小中連携については、「目指す子ども像」を共有し、具体的な活動を推進することができました。</p> <p>・端末の活用は、日常の授業や持ち帰りでの活用が進めることができました。</p> <p>・働き方改革は、業務の精選・協同化・平準化など、工夫改善を進めます。</p>						

6 今後の方向性についての校長所見

「自ら学び ともに伝えあい 高めあう力の育成～『コミュニケーション力』の向上と自己有用感の醸成～」を重点目標に、めざす学校像「子どもの未来を育てる学校～チーム恵中（共育）」、めざす地域像「子ども・ふるさとの未来を育てる地域～協働する地域・家庭（協育）」を実現するため保護者・地域と一体となった教育活動を推進してきました。子どもたちに新しい時代に必要な資質・能力を育成するために、教育課程に基づいた学校教育活動を適切に実施し、教職員の組織的・機動的な協働体制が重要と考えています。その実現には、学校運営協議会（CS）を活用し、教職員と地域が一体となった「チーム恵中」として教育活動を推進して子どもの姿で評価・検証を行い、「自信としか」に取り組むことが重要と考えています。さらに、日々の活動を積極的に発信し、細やかな受信活動に努め、よりいっそう地域に開かれた教育課程の実現を目指していきます。また、学校運営協議会を基盤に取組を継続させ、子どもたちを取り巻く人的・物的環境整備に努めていきます。